

# 防災・安全

### 一方通行の多い地域の安全対策について

常松大介議員(フオ) 一方通行の出口の規制表示を見落として逆走してしまった運転手に注意を促すような対策が必要と思うがどうか。

## 都市整備

### 小川駅西口のまちづくりの現況と課題について

西 克彦議員(共産) ①再開発事業の現況は。

②周辺住民や駅利用者等の意見や要望はどう反映されるのか。

市長 ①6月6日に小川駅西口地区市街地再開発準備組合の総会が開催され、事業協力者の選定は候補企業が50社から4社3組に絞られ、また選定スケジュールの変更も承認された。後日、臨時総会で決定する予定である。

②現在は組合設立の準備段階である。まずは権利者の合意形成を図り、その後、事業計画作成の中で意見を聞く場を設けるなどの調整を準備組合としたい。

なぜ小平市は建築行政事務を行わないのか

佐野郁夫議員(政和) ①建築行政事務を行うメリットは。

②都から建築行政事務の移管を受けない理由は。

③未移管の西東京市と協調した広域化への取り組みは。

市長 ①開発事業条例に基づく協議を並行して進められること、

市長 ①整備に反映できるものは工事を進める中で検討したい。

②設計受託した西武鉄道株式会社国がの基準等、一定の客観性に基づき算出したと考える。

③多額の費用が必要な工事になるため素材も含め研究し、中央公園のバリアフリー化事業の中で実施可能か検討したい。

鷹の台駅や周辺のバリアフリー化について

山岸真知子議員(公明) ①東口開設の検討状況は。

②工事期間中の安全対策は。

③にじバスの鷹の台駅乗り入れの検討状況は。

市長 ①平成16年の請願採択を受け要望を行ってきた。西武鉄道株式会社も検討をしたと聞いているが、駅員配置等の課題により実施に至っていない。

②中央公園西口地下自由通路を通行止めにするため、迂回路の周知と交通安全喚起の看板を設置し、注意を呼びかけた。

③市民総合体育館へは府中街道の渋滞による運行定時性への影響が、また駅西口へは車両の滞留場所等の課題がある。

木村まゆみ議員(共産) ①市民参加の意欲等をどう生かすか。

②中央公園西口地下自由通路工事費約2億円の積算はどのようにしたか。

③国体開催に関連し、トラックの外周路を足に優しい素材に変更できないか。

業等の補助金を引き続き活用してもらえと考えている。

③開発事業の最終宅地数は252区画で本年5月現在、19戸が竣工している。すべての建築物の竣工は平成24年1月下旬の予定と聞いている。

無料の自転車駐車場の適切な配置を

佐藤 充議員(共産) ①新小平駅周辺はすべて有料化されたが、無料の駐車場をという要望はどのくらい寄せられたか。

②現在ある無料自転車駐車場を有料化する際、新たに無料駐車場を設置する考えはあるか。

市長 ①昨年12月の有料化告知看板掲示後に電話で数件あったほか、メールでの問い合わせが29件あり、そのうち設置要望は4件あった。

②便利で安全な自転車駐車場とするために、順次有料化したと考えており、新たな無料駐車場の設置は難しい。

あかしあ通りのバス路線復活及び関連する課題について

浅倉成樹議員(公明) ①あかしあ通りの公共交通の現状認識とバス事業者への援助は。

②小平駅南口周辺に市民課の出張窓口を設置する考えは。

市長 ①本年4月からの銀河鉄道株式会社の小金井循環線運行開始で周辺地域の利便性が向上したと認識しているが、財政的な援助は考えていない。

②費用対効果から困難な状況である。今後も東・西出張所、動く市役所、証明書自動交付機及び土曜窓口開庁等により、利便性の向上を図っていきたい。

2例目のコミュニティタクシーと今後の公共交通について

西 克彦議員(共産) ①栄町・小川西町地域での実証実験運行に対する反応や利用状況は。

②実証実験運行の課題は。

③運行する上での教訓は。

市長 ①乗車した方からは便利になった、運転手が親切等の意見ももっている。また運行開始から5月28日までの1日平均は42・1人である。

②運行について地域の人たちを知ってもらい、多くの人に乗りしてもらおうことである。

③運行実施に当たっては、計画段階から関係機関等と十分調整することが重要と考える。

▲小川栄町地域コミュニティタクシー実証実験運行小川駅入口



にじバスを見直し新たな公共交通をつくらう

立花隆一議員(公明) ①にじバスはなぜ赤字幅が大きいのか。

②コミュニティタクシー運行未実施地域における市の役割と地域の支援とは。

市長 ①運行経費は運賃収入と市の補助で賄う構造となっているため、他市のコミュニティバスに比べて市の負担額が大きい

とは考えていない。

②地域特性に合った効率的な生活交通の供給のため、市はコミュニティネットを行い地域の方々と協働で運行サービスをつくっていくこと、地域の方々は市や運行事業者と連携し生活交通を守り育てることが重要と考える。

## 福祉

### 福祉会館駐車場の駐車枠を広げてほしい

常松大介議員(フオ) 福祉会館駐車場の1台当たりの駐車枠を、市役所本庁舎北側駐車場と同等以上のスペースに拡大してもらいたい。また、そのことで駐車可能台数が減少するから、健康福祉事務センターの駐車場も開放するなどの措置を講じてもらいたい。どうか。

市長 福祉会館駐車場は、福祉会館利用者だけでなく健康センターの利用者も含めて多くの市民が利用しているため、改修工事の規模、駐車場の利用制限、改修後の駐車可能台数の減少といった影響などを踏まえ、対応の時期やレイアウトなどを検討していきたい。

視覚障がい者の利便性向上のため音声コードの普及を進めよう

虹川 浩議員(公明) ①広報物等における音声コード活用の現状と今後の展望は。

②市の施設への活字文書読み上げ装置の設置状況は。

市長 ①市民便帳の裏表紙には障害者のための相談窓口等の案内を、小平市全図には各施設情報を音声コードで掲載して



活字文書読み上げ装置

介護保険サービス未受給者の実態について

木村まゆみ議員(共産) ①未受給者の認定期限を改善しては。

②認定期限切れの暫定受給者に対する償還払いの改善は。

市長 ①要介護認定の有効期間は介護保険サービスの利用の有無に関わらず定められており、未受給を理由に期間の特例を設けることはできない。

②暫定ケアプランの作成により償還払いでなく、1割負担で介護サービスが利用できる。なお市は認定期限45日前から更新手続の案内をしている。

もうひとつの住まい方を地域につくらう

平野ひろみ議員(生ネ) ①住宅相談状況と他機関との連携は。

②介護保険の居住系の施設整備にかわる新規事業の考えは。

市長 ①平成21年度の相談は55件あった。他の相談機関としては都の賃貸ホットラインを、住宅困窮者には都営住宅やシルバピアの申し込みなどを案内している。雇用と同居を失った方への支援は引き続きハローワークや小平市社会福祉協議会と連絡を密に対応する。

②住み慣れた地域での在宅を基本とした生活を可能とする取り組みが必要であり、国や都の動向も注視し研究したい。

掲載分以外の質問項目

【児童・女性】

・保育所児童保育要録は子どもたちにとって有効に活用されているか。